

家具設置をヴァーチャルとリアルでサポート

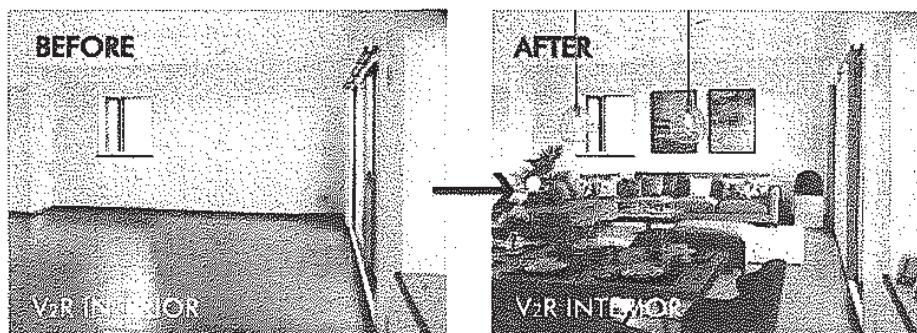
リビングハウス カラーアンドデコと資本業務提携

リビングハウス（大阪市西区、北村甲介社長）は、“不動産×インテリア空間演出”サービスを提供するカラーアンドデコ（東京都港区、加藤望美社長）と資本業務提携

コ（東京都港区、加藤望美社長）と資本業務提携し、家具や雑貨を全国に設置可能な「V2R（ブンテリアール）インテリア」サービスを提供する。今回の提携では、ホームステージングを日本

不動産業界に普及させて不動産会社が購買ターゲットの属性や地域性からオンラインティアスタイルを選択した後、カラーアンドデコのスタイルリストが空室や居住中の部屋の写真に3D上で家具や雑貨を配置し、インテリア演出された空間イメージを提供する——という新しい仕組みを開拓する。

同社は今後の展望について、「中古物件市場の活用方法が社会問題と化すなか、ホームステージングした家具を通じて、間接的に中古マンションの販売元・購入者との繋がりが生まれることにより、リビングハウス事業の販路拡大を推進していく」という。



ホームステージング設置画像

現在、不動産売買市場におけるホームステージングの重要性が語られているが、手間がかか

り、コストと時間も要するという現状がある。

一方、VRホームステージングでは、不動産購入の検討者が物件内覧時に家具がない、トーンダウンしてしまうという課題も抱えていた。

そこで、「V2Rインテリア」では、ヴァーチャル（3D・VR）からリアル（設置）までをトータルでサポート。物件告知開始前にはヴァーチャルで3Dインテリアを作成し、広告にイメージを使用、内覧開始時にはリアルに家具を設置することが可能となり、導入企業の物件をより早く、より高く売るためのサービスを提供する。

V2Rでは、不動産の空間イメージを提供する——という新しい仕組みを開拓する。同社は今後の展望について、「中古物件市場の活用方法が社会問題と化すなか、ホームステージングした家具を通じて、間接的に中古マンションの販売元・購入者との繋がりが生まれることにより、リビングハウス事業の販路拡大を推進していく」という。